

国立大学法人 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 [修士課程] 人間発達教育専攻 芸術表現系教育コース(音楽)

芸術表現系教育コース（音楽）では、音楽科教育学、声楽、器楽を柱として、音楽科教育に関する専門的知識と演奏実技の双方を基盤とした学びを展開しています。そのため、各分野の音楽授業科目を充実させるとともに、理論と実践を結び付けた実践的なカリキュラムを編成しています。本コースでは、音楽科教育についてより専門的に学び研究を深めたい人、演奏実技力の向上とともに音楽科教育への理解を深めたい人、また教育現場での経験を理論的に深化させたい人など、それぞれの目的や関心に応じた課題研究に取り組むことができます。これらの学修と研究を通して、専門性と実践力をさらに高め、修士の学位取得を目指します。

カリキュラム

専門科目

音楽科カリキュラム研究演習
音楽科授業の指導計画と教材研究の演習
音楽表現の知識と技能Ⅰ（声楽）
音楽表現の知識と技能Ⅱ（鍵盤）
音楽表現の知識と技能Ⅲ（器楽）
音楽表現の知識と技能Ⅳ（日本伝統音楽）*
音楽表現の知識と技能Ⅴ（指揮）
音楽教育の創意Ⅰ（声楽）*
音楽教育の創意Ⅱ（鍵盤）*
音楽教育の創意Ⅲ（器楽）*
音楽教育の創意Ⅳ（創作）*
音楽理論の基礎Ⅰ（ソルフェージュ）
音楽理論の基礎Ⅱ（創作）
アート・コミュニケーション演習

*昼間クラスのみ開講

他

◆共通科目(2単位以上)

+

◆専攻科目

○専門科目

専門領域科目群(14単位以上)

広領域科目群(2単位以上)

○探究力を養成する課題研究(8単位)

合計:26単位

最低修得単位数:32単位

※合計単位数26単位と32単位との差6単位は、共通科目や専門科目(修士課程においては、所属以外で開設する科目を含む)および交流科目のうちから修得します。



授業紹介

音楽科授業の指導計画と教材研究の演習

教科教育と教科専門の教員が協働しながら授業を担当し、それぞれの専門性を活かした多角的な視点から、教材解釈力と実技力の向上を目指します。また、模擬授業を通して、受講生と教員が共に学びを深め指導力と実践力を高めます。



音楽表現の知識と技能Ⅲ（器楽）

クラリネットとヴァイオリンの基本的な奏法と指導法を学びます。続く「音楽教育の創意Ⅲ」では、サクソフーン、フルート、オーボエ、バスーン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープを学び、教育現場における吹奏楽や弦楽指導に活かすと同時に幅広い音楽表現力の修得を目指します。



音楽教育の創意Ⅰ（声楽）

「音楽表現の知識と技能Ⅰ」で学んだ発声法、イタリア歌曲の分析や歌唱法を踏まえ、この授業では日本歌曲を題材とした歌唱法を学びます。そして、学校教育における音楽科の内容をなす歌唱活動の表現力と指導力の向上を目指します。



昼間クラスとフレックスクラス

昼間クラスは、加東キャンパスにおいて、2年間での修了を目指します。一方、フレックスクラスは、2年あるいは3年間（長期履修学生制度により2年分の授業料で3年間在籍可）での修了を目指します。フレックスクラスの授業は、6限（18:30～）あるいは7限（20:10～）以降に行われるため、働きながら学ぶことができます。フレックスクラスの開講科目の多くがオンライン形式ですが、実技科目は一部神戸キャンパスにて対面、また環境設備の関係で加東キャンパスにて集中講義で行う科目もあります。音楽分野の場合、フレックスクラスは、専門科目以外も含めて、週2～3回程度のオンライン授業、神戸キャンパスにて週1回の対面授業を受講していただくこととなります。

取得可能な免許

入学前に小学校、中学校や高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得している人は、芸術系表現系教育コース(音楽)の専門科目を履修することにより、次の専修免許状を取得することができます。

- 小学校教諭専修免許状
- 中学校教諭専修免許状(音楽)
- 高等学校教諭専修免許状(音楽)

また、教職経験が3年以上ある方は、その経験を活かして特別支援学校教諭(一種・二種)免許状を取得することが可能です。教職経験が3年未満で特別支援学校教諭免許状の取得を希望する場合は、教育実習を除く所定の単位を修得し、修了後に必要な勤務経験年数を満たすことで取得することができます。

そのほか、幼稚園教諭または中学校教諭としての教職経験が3年以上ある方は、その経験を活かして小学校教諭二種免許状の取得を目指す「小中連携プログラム(現職ユニット)」を利用することができます(出願時に申請が必要です)。

そして、所属コースの科目以外の中学校または高等学校の一種免許状をすでに取得しており、所属コースの科目の教員免許状の取得を希望する方には、他教科の教員免許状取得を支援する「科目等履修支援」制度(学部科目等履修の授業料を一部免除)もあります。

ただし、いずれの場合も授業科目によっては大学院の時間割との重複や受講定員の制限等により、受講できない場合があります。

演奏発表会



冷暖房完備の個人練習室が充実!下宿生も十分に練習できます。



Campus Life



四季の変化を
たっぷり感じられる
芸術棟



近年の修士論文題目

- ・小学校音楽科における創意工夫を活かした表現活動に関する研究—発達最近接領域を手がかりとして—
- ・小学校音楽科における人形浄瑠璃の教材化に関する研究—オリジナル演目を用いた表現活動を目指して—
- ・日本と韓国の小学校音楽科教科書の比較研究—器楽分野を中心として—
- ・中学校音楽科の歌唱活動に関する研究—谷川俊太郎の詩による歌唱作品における言葉と音楽のかかわりに着目して—
- ・ICTを活用した音楽創作活動に関する研究—DAWのピアノロールを視点とした楽典の基礎学習—
- ・高等学校音楽科における「創造性」を育成する鑑賞学習—「通史的な学習」の有効性に着目して—
- ・幼小連携を見据えた授業づくりに関する研究—小学校音楽科低学年の表現領域を対象に—
- ・日本と海外のピアノ指導に関する比較研究—ピアノグレード試験を視点として—

教員紹介

野本 立人 教授

声楽担当

専門はバリトン。主なレパートリーはドイツ歌曲とバッハ等の宗教作品です。国内外の合唱作品と、合唱指導法に関する実践的研究を行っています。

河内 勇 教授

器楽担当

専門はクラリネット。ソロ曲、室内楽、オーケストラ、吹奏楽等、多岐にわたる演奏経験を活かした技術研究・合奏研究に加え、管楽器指導法や基礎練習法についての研究を行っています。

岡本 信一 准教授

音楽科教育担当

専門は音楽科教育学。次世代を見据えたカリキュラム開発を、子どもの音楽に対する認知のプロセスを視点として学際的・実践的に行っています。

井上 朋子 准教授

ピアノ担当

専門はピアノ。ソロやピアノを含む室内楽の演奏法と指導法、ならびに領域・教科を横断した総合的な表現教育の可能性について研究しています。

河邊 昭子 教授

音楽科教育担当

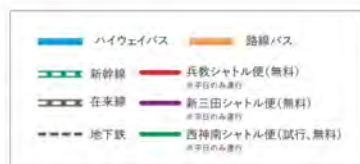
「学習者の視点に立つ音楽科授業づくり」をめざし、主に基礎的音楽能力の育成や表現と鑑賞の関連を重視した音楽学習に関する研究を行っています。

所在地

《加東キャンパス》



■高速バス
大阪駅から高速社…約80分
三宮から高速社…約55分



《神戸キャンパス》

〒653-0036 神戸市長田区腕塚町5-2-1 新長田キャンパスプラザ6～8階
■アクセス JR新長田駅から徒歩7分

問い合わせ先

兵庫教育大学大学院入学相談室

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

Tel : 0795-44-2359

E-mail : guidance-info@ml.hyogo-u.ac.jp

音楽分野HP

大学HP

